ポリクリック シリーズ 乾式 ドライモンドコアドリル

取扱説明書

動画公開中

このたびは、弊社製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
お読みになった後は大切に保管し、必要なときに読み返してください。

安全上のご注意 必ずお守りください

けがなどの事故を未然に防ぐために、次に述べる『安全上のご注意』を必ず守ってください。

⚠警告 誤った取り扱いをしたときに、使用者または第三者が死亡や重傷を負うおそれがある内容

⚠注意 誤った取り扱いをしたときに、使用者または第三者が軽傷を負う危険や物的損害の発生するおそれがある内容

⚠ 警告

①作業場はいつもきれいに保ってください。また、作業場の周囲の状況も考慮してください。
雨中や暗所、可燃性のある液体やガスのある場所で使用しないでください。
②別紙または右の二次元コードの「安全上のご注意」を必ずお読みください。 **安全上のご注意**

⚠ 注意

①使用する製品・サイズにあった電動工具をご使用ください。
②電動工具は回転モード以外で使用しないでください。ハンマー(打撃)・振動モードでの使用はカッター又はセンタードリルの破損原因となります。
③穴あけ途中は、絶対に回転を止めないでください。刃先が噛み込み、抜けなくなる場合があります。回転を止める場合は、カッターを穴あけ対象物から引き抜いた後で止めてください。途中で回転を止めた場合は、回転を止めたままゆっくりカッターを引き抜いてください。
④切削片がカッターから出にくい場合はカッターをシャンクから外し、棒状の物で刃先側へ押し出してください。
⑤１穴毎にカッター内の切削片、切粉を取り除いてから作業をしてください。
⑥深穴等の穴あけで切粉の排出が悪くなった時は途中で切削片を折り、取り出した後作業を続けるとスムーズに作業が行えます。切削片が折れない時はペックモーションを行いながら穴あけをしてください。
⑦デッキプレートや金属板には穴あけできません。金属部分を穴あけしてから本製品をご使用ください。この場合、使用されるドライモンドコアドリルより大きい穴を開けてください。金属部分にチップが当たると刃先の破損原因となります。

ユーザーと共に歩む 株式会社ミヤナガ
〒673-0443 兵庫県三木市別所町巴19番地
URL https://www.miyanaga.co.jp

商品の仕様等は予告なく変更する場合があります。
最新の取説は弊社ウェブサイトをご覧ください。

受注センター
受付窓口 0120-81-3875（はい ミヤナガ）
商品お問い合わせ窓口 0120-3875-14（ミヤナガ いいよ）
FAX 0120-3875-17（ミヤナガ いいな）

4955710-15

本製品について

回転 ROTATION　乾式 DRY TYPE

用途(被削材)

◎適合材：鉄筋コンクリート、コンクリート、PC コンクリート、押し出し成形セメント、モルタル、ヒューム管、陶管、人造大理石

◎穿孔可能材：窯業系サイディングボード、塩ビ管、瓦

※ブロックへの穴あけは、チップの摩耗が早い場合がありますので、ブロック用ドライモンドコアドリルを使用してください。
※養生後間もないコンクリートやアスファルトへの穴あけは、チップの摩耗が早くなる場合があります。
※瓦の種類によっては著しく性能が落ちる場合があります。硬質瓦にはPV瓦用ダイヤコア、ウェットモンドコアドリル又はエスロックタイル用ホールソーをご使用ください。

仕様

タイプ	刃先径(mm)	有効長(mm)	全長(mm)
標準	25～220	150	180
	230～310	150	185
ショート	50・65・95・100・110	80	110
ロング	50・65・75・80	220	250

センターピン/センタードリル

品名	品番	用途
センターピン	PCDCP3	標準付属品φ25～310
センターピン軽荷重	PCDCPK	φ25～310
センターピン２５０	PCDCP25	ロング用φ50～80
センターピンショート80	PCDCP2L	ショート用φ50～110
超硬センタードリル	PCHWCD250	傾斜面穴あけ、押し出し成形セメント

シャンク

品名	品番	適合刃先径(㎜)	仕様
Sシャンク ストレート	PCSKS	49以下	10㎜ストレートシャンク
Sシャンク SDSプラス	PCSKSR		SDSプラスシャンク(軽量ﾊﾝﾏｰﾄﾞﾘﾙ用)
Lシャンク ストレート	PCSKL	50～225	13㎜ストレートシャンク
Lシャンク SDSプラス	PCSKLR		SDSプラスシャンク(軽量ﾊﾝﾏｰﾄﾞﾘﾙ用)
Xシャンク SDSプラス	PCSKXR	50以上	SDSプラスシャンク(軽量ﾊﾝﾏｰﾄﾞﾘﾙ用)
Xシャンク SDS-max 回転モード	PCSKXMXK	50以上（120以上推奨）	SDS-maxシャンク

※右の二次元コード中にある「その他共通シャンク」のＳシャンク充電は、ドライモンドコアでは使用できません。
※電動工具やトルクや回転速度・クラッチの関係で、φ230以上の使用にはXシャンク SDS-max回転モードの使用を推奨します。
※Ｘシャンク SDS-max回転モードは、打撃モード・ハンマーモードでご使用になられても打撃・ハンマーはかかりません。

その他共通シャンク

使用条件

使用電動工具は下記条件を満たすものをご使用ください。
条件を満たさないものは、絶対にご使用にならないでください。

1. クラッチ付き
2. 1500min^{-1}以下
3. 消費電力450W以上

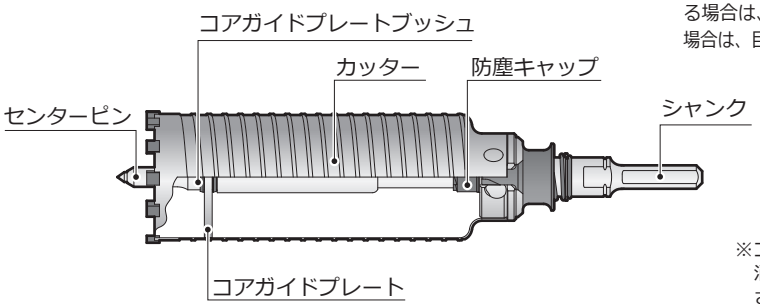
⚠ 回転モード以外で使用しないでください。

《電動工具の適正回転速度／消費電力の目安》

刃先径(mm)	回転速度(min^{-1})	消費電力(W)
25～45	1500～800	450以上
50～80	1100～700	550以上
85～125	1100～700	650以上
130～220	1100～500	750以上
230～310	850～250	1100以上

注意：上記は弊社標準条件においての目安です。穴あけ対象物の材質や固定方法などにより異なります。一般的に効率良く切れている場合は、高速側で、刃先の焼けが生じる場合は、目立ての上低速側でご使用ください。

各部の名称

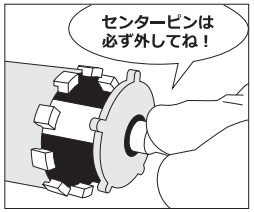


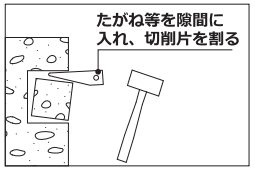
※コアガイドプレートブッシュの消耗時は、新品に交換してください(品番：PCGPB)。

使用方法

使用方法

①本製品は必ず乾式でご使用ください。湿式でのご使用は耐久性が悪くなります。
②「使用条件」の欄を参考にし、刃先径に適した電動工具をご使用ください。
③シャンクを電動工具に取り付けてください。
④カッターを取り付けない状態で右項の「センターピン(ドリル)の着脱方法」をご覧になり、センターピン(ドリル)をシャンクに取り付けてください。
⑤カッターのシャンクへの取り付けは、下項の「カッターの取り付け方法」を参考にしてください。
⑥コアガイドプレートを刃先より少し内側に取り付けてください。コアガイドプレートがセンターピンに取り付けれらない場合は、コアガイドプレートブッシュを取り外してご使用ください。
※コアガイドプレートは、カッター振れ軽減のため必ずご使用ください。
⑦**センターピン使用の場合**：ゆっくりと穴あけを始め、2～3mm切り込んだら必ずセンターピンを外してください。
センタードリル使用の場合：穴あけ位置中心にセンタードリルを当て、センタードリル穴をあけてください。(センタードリル貫通後に、カッターが被削材に急激に当たるのを防ぐため、先にセンタードリル穴だけを開けてください)
⑧刃先を下穴に合わせてから穴あけを再開してください。
深穴の穴あけ時、湿ったコンクリートに穴あけする等の理由で、切粉の排出が悪い場合は、一旦穴あけを中断し右図のような方法で、切削片を取り出してから作業を再開してください。
⑨穴あけ完了後、カッターは回転させたまま引き抜いてください。
⑩切削片がカッターより出しにくい場合は、カッターをシャンクから外し、棒状の物で刃先側へ押し出してください。





防塵キャップ

・ポリクリックシャンク(S・L・Xシャンク)には、センターピン(ドリル)挿入口へ切粉が入るのを防ぐために防塵キャップが付いています。
・防塵キャップを装着したままで、センターピン(ドリル)の着脱が可能です。

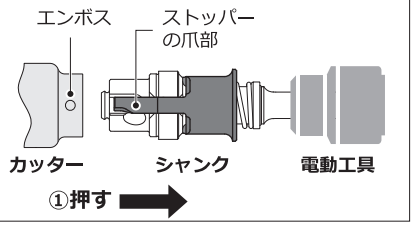
※単品での発売も行っています。
Sシャンク用　　：品番 PCBCS
L・Xシャンク用：品番 PCBCL

カッター取り付け方法

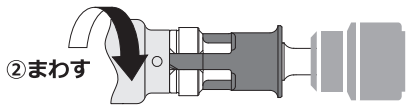
1 電動工具にシャンクを取り付けてください。

2 カッターのエンボス(丸型凸部)をシャンクのストッパーの爪部に合わせ、そのままカッターをシャンク側(矢印①)に押してください。

注 カッターとシャンクに付着している切り粉やごみ等の異物は取り除いてください。

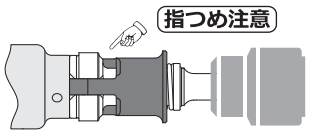


3 カッターをシャンク端面まで押し込んだ状態で、カッターを刃先側から見て右方向(矢印②)に回してください。



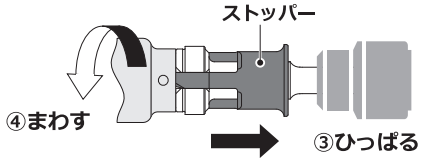
4 カチッと音がして、カッターがシャンクに固定されます。
最後にカッターを引っ張って、しっかりと固定されたことを確認してください。

注 指を挟まれケガをするおそれがありますので、ストッパーの付近に手を添えないでください。



カッター取り外し方法

1 シャンクのストッパーを電動工具側(矢印③)に引っ張った状態で、カッターを刃先側から見て左方向(矢印④)に回してください。



2 ストッパーを引っ張っている力を少しずつ緩めてください。
カッターがストッパーによって押し出され、取り外せます。

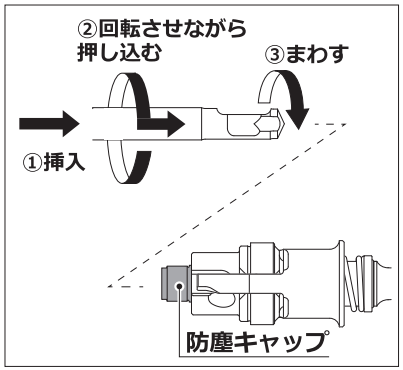
注 ストッパーから手を離すとカッターが飛び出すので注意してください。高所作業時は落下のおそれがあるので、特に注意してください。

センターピン(ドリル)の着脱方法

①センターピン(ドリル)をシャンクに挿入してください。
(防塵キャップは取り外さないで挿入してください)
②センターピン(ドリル)を回転させながら押し込むと、シャンク内の突起とセンターピン(ドリル)の L型溝の位置が合い、さらにシャンクの奥まで入ります。
③センターピンを奥まで押し込んだ状態で、さらに刃先側から見て右方向(矢印③)に90°回転させて、固定してください。
④取り付け後、センターピン(ドリル)が外れないか確認してください。

注 センターピン(ドリル)のシャンク挿入部にグリスを塗布してください。L型溝の変形が軽減されます。

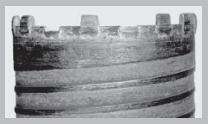
⑤取り外す時は、センターピン(ドリル)を軽く押し込みながら刃先側から見て左方向に90度回転させて抜き取ってください。



こんな使い方していませんか？

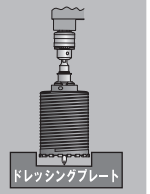
①回転モード以外はダメ！

振動モードや打撃モードでご使用されますと、カッター先端のチップが取れたり変形を起こします。
鉄筋やぐり石に当たると、極端に穴あけスピードが落ちることがありますが、回転モードのままスラストを弱めて穴あけをしてください。


チップが取れた状態

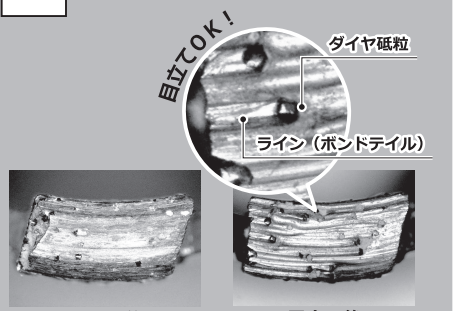
②目立てをしていない！

切れ味が落ちたと感じたら、目立て(ドレッシング)をしてください。



方法① 通常の穴あけ手順でブロックやGC砥石に穴あけをする。

方法② ドレッシングプレートに数回穴あけをする。
弊社ドレッシングプレート推奨(品番:DDP)



目立て前
ダイヤ砥粒の後方にラインがない

目立て後
ダイヤ砥粒の後方にラインがある